

情報通信技術委員会（TTC）2022年度 「TTC会長表彰」受賞

2022年6月16日、情報通信技術委員会（TTC：The Telecommunication Technology Committee）より、2022年度情報通信技術賞の受賞者が発表され、コーポレートエバンジェリストの1人、チーフセキュリティアーキテクトの森山 光一が、「W3C及びFIDOにおけるパスワード課題を解決する認証に関する国際標準化及びその普及推進にかかわる功績」によりTTC会長表彰を受賞しました。

TTCは、情報通信ネットワークにかかわる「標準」を作成することにより、情報通信分野における標準化に貢献するとともに、その普及を図ることを目的としており、その目的に沿う事業の遂行に多大な貢献をした者に対して毎年表彰が行われています。

本年度は、情報通信技術賞総務大臣表彰（2名）、情報通信技術賞TTC会長表彰（4名）、功労賞（15名）が授与されました。

現在、オンラインサービスで主に利用されているパスワードによる認証には、推測や漏洩のリスクなどの課題があり、FIDO（Fast IDentity Online）ア

ライアンスは、こうしたパスワードの課題を解決するため、2012年に設立され、FIDO認証の仕様策定と認定プログラムの展開など国際標準化活動を推進しております。また、Web技術の国際標準化を推進するコンソーシアムであるW3C（World Wide Web Consortium）と協力して検討することで、FIDO認証モデルを基にしたWeb認証をW3Cの「勧告」とし、世界中のさまざまな方々に提供できるようになりました。

森山は2015年からFIDOアライアンスボードメンバー、そして2019年1月から執行評議会メンバー（2018年に制定した新しいガバナンスモデルにおいて定められたボードメンバーからの選出で決まる実質的な取締役）を務め、特に、FIDO認証を業界のエコシステムの一部として組み込むことに尽力しました。また、日本国内においては2016年からFIDO Japan WG（Working Group）座長を務め、国内のFIDO認証の普及に尽力しました。これら国内外の貢献が認められ、今回の受賞となりました。

また、2022年10月に新組織に移行したW3Cの取締役会の最初の取締役の1人として選出され、これからも国際標準化とグローバルなオープンイノベーションに取り組むことが期待されています。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

